

# 足利風 -ashikaga-fu-

2011  
10月号  
Vol. 16



絵:川島直人



## 足利市民活動センター

開館時間：平日 午前10時～午後7時

〒326-0051

栃木県足利市大橋町1丁目2006-3

TEL 0284(44)7311

FAX 0284(44)7312

mail info@shimin-act.jp

HP <http://www.shimin-act.jp>

## ☆ ご案内 ☆

\*特集！

\*TOPICS

\*私のボランティアことはじめ

\*サークル紹介

\*インフォメーション

\*センターからのご案内

## \*「生きていく居場所の復興」\*

～見わたせば なにもない そこにあるはずの  
風景 思い ぜんぶない  
でも そこにあった ものをとりもどす ために  
がんばっている ぼくたちには  
まえとはちがうが 必ずいいものが  
帰ってくるだろう ～

「ない」・石見夏希



3. 11東日本大震災で大きな被害を被った、宮城県山元町の災害臨時地域FM「りんご」のスタジオに置いてある、避難所の段ボールに書かれた詩です。詩を書いたのは、仙台市の小6の女の子。おじいちゃんおばあちゃんの住む山元町に、夏休みなどに来て、野原を駆け回ったりして楽しく遊んでいた。その風景が、一瞬のうちに瓦礫の山に変わってしまった。

この詩には、被災者はじめ、ボランティアたちの思いが凝縮されてある。復旧ではなく、新しい出発(たびだち)のための復興を・・と、いう願いと祈りとがある。

人間が生きていくことができるためには、「生きている場所」と「生きていく居場所」とが必要だという。生物的な生存条件と人間的な実存条件。

日本では毎年、3万人以上の自殺者がいる。このほとんどは、いま生きていることは出来ても、未来に向かって生きていくシナリオが見つからない人たちだと言われている。生物的な生存条件は満たされいても、人間的な実存条件が満たされないために起きる悲劇。

復旧ではなく復興とは、これから未来に向かって“生きていく居場所”の復興のことである、ということ、私たちは、魂の奥深くに銘じなければならない・・と、心から思う。

(M生)

---

## \*被災地支援ボランティア・バスパック 報告\*

東日本大震災の被災地支援ボランティア・バスパック企画が、「がんばろう 東北！」応援プロジェクト足利風の主催で、6月11日・7月17日に実施された。目的地は、宮城県山元町。長い海岸線で甚大な被害を受けた。死者も多数にのぼり、お隣の角田市まで遺体安置所となった。震災直後から、地元の被災者でもあるSさんと緊密な連絡をとり、支援シフトを整えた。

コーディネーターが、南三陸町・陸前高田市・釜石市・・などの被災地に頻りに駆けつけていたため、山元町へのバスパック企画は数回となってしまった。

しかし、現地でも話題になるほど、足利からのボランティアたちの活躍は印象に残るものだった。カンボジアからのボランティア・女子中学生ボランティア・・など、地元の臨時災害FM“りんご”のゲストとして、全国発信された。今後も現地のニーズを最優先に見極めながら、このような心のこもった企画をして行きたいと思っている。

(鈴木光尚)

## \*「まちと人の心をつなぐ」\*

～木村克子～



今、私達は、足利のまちと岩手のまちをつないでいます。AKG23のモットーは、みんなで一緒に元気に楽しくまちをつなぎます！です。普段は足利の地域資源である銘仙の着物を来て足利のまちのPR活動をしています。

3.11 震災後、SAVE IWATE(東日本大震災被災地支援ボランティアチーム)の代表からSOSを受け取りました。震災直後は東北道不通、ガソリン不足等で直ぐに行く事ができず、私がやっと岩手に行けたのは4月8日でした。

その時に見た光景は想像を絶するもので言葉にならないものでした。そして…出来る限りのお手伝いをさせていただきたいと思いました。被災地へボランティアに行くと同時に足利で岩手物産展を催したりと自分たちで出来ることを続けています。

復興には長い年月がかかります。末永いお付き合いしていきたいと思っています。みんなで一緒に日本中のまちをつなげていきたいです。



がんばろう 東北！  
採りたての山菜を食べて  
復興支援しよう！

\*蒸り上げ食は、全被災地にお送りします！



主催：SAVE IWATE  
共催：AKG23  
NPO法人足利の橋

## \*「労務研究会」とは\*

国家資格を持つ「社会保険労務士」有志の数人で組織する「労務研究会」は、毎月一回ではありますが、日常起こり得る(得た)問題点を持ち寄り、研鑽するグループです。

具体的には、「社会保険労務士」は経営者・労働者双方にとって極めて身近で重要な社会保険制度(年金・健康保険等)、労働保険制度(労災保険・雇用保険等)さらに最近耳にする労働問題等の専門家として認定されています。

しかし、最近の社会情勢や、政治情勢の変化に伴い、法律・裁判所の判例等も毎年のように変更されています。このため多くの人々にとって、法律の仕組みが非常に分かりにくいものになっています。そこで我々はこの分かりにくい仕組みを、解り易く、より多くの人々に助言・相談又は代理することを業として行っております。

そのため、冒頭申し上げた問題等を、経営者・労働者にとって如何に良い方法で解決すべきかを互いに毎月研鑽しております。

森 英史

## ① インフォメーション ①

### ☆ ボランティア・NPO基礎講座

とちぎ県政出前講座です。

「NPOってなに?」「ボランティアとどう違うの?」「NPOは法人になれるの?」といった疑問にお答えするとともに、社会貢献活動を促進するための県の取組について説明いたします。

日 時 : 平成 23年 10月 4日(火) 午後1時30分 ~ 3時

場 所 : 足利市民活動センター 3F ~みんなの広場~

担 当 者 : 栃木県生活環境部県民文化課県民協働推進室 職員

参 加 費 : 無料

定 員 : 20名(申込順)

問合・申込 : 足利市民活動センター (TEL:44-7311)

### ☆ 第20回 全国ボランティアフェスティバル TOKYO

わたしたち  
市民がつくる、強くしなやかな社会

日本全国で、日々ボランティア活動を行っている方が、一同に集まるイベントです。活動歴数十年のベテランの方や学生、社会貢献活動を行っている若い社会人まで、さまざまな人たちが参加し、ワークショップやセミナー、交流会などを行います。

日 程 : 平成 23年 11月 12日(土)・13日(日)

会 場 : 12日 両国国技館 ほか、13日 青山学院大学 ほか

## \* センターからのご案内 \*

### ☆みんなの広場 ~ 10月・11月のご案内 ~

- \* がんばろう東北展(10月11日~20日)
- \* 田中佑雲書展~東北の詩人たち~(10月24日~11月2日)
- \* さぼ~と会展(11月7日~17日)
- \* 足利銘仙展(11月21日~12月1日)

### ☆相談室&講座のご案内

- \* 相談室 = 毎月第2・第4水曜 午後2時~4時 ※詳しくは、別紙参照
- \* 講座 = 毎月1回 午後7時~9時 ※詳しくは、別紙参照

### 編集後記

今年の夏は、『節電』で、活動センターを利用されている方々にも、ご協力いただき、ありがとうございました。最近、時折降る雨に肌寒さを感じ、朝晩、涼しくなってきました。季節の変わり目で、体調にお気をつけてください。(コッペ)